ともだちみんな　きらきらえがおで　わになり
なかよし　ときわっこ　園長だより No６　R８.10.30

運動会では、子どもたちの力となる声援や応援をありがとうございました。保護者の方の感想で「入場で５歳児と３歳児が手をつないで入場しそれぞれの成長を感じた」「昨年は恥ずかしがっていたけれど、今年は先生をよく見て動いていた」「学年の友達と力を合わせる姿に感激した」と温かい感想をたくさんいただきました。ありがとうございます。

閉会式で、「次の日から運動会ごっこをします」と言いました。子どもたちは、踊りのコーナーで、ポンポンや飾りを身に着け、音楽やリズムに合わせて異年齢児が一緒に踊ることを楽しんでいます。





また、運動会を経験した子どもたちは「やってみよう」という意欲に満ちています。各クラスで、太鼓橋や鉄棒に取り組んでいます。少し怖い気持ちもあるようですが、学級で取り組んだ経験から選んだ遊びの場でも自分から取り組むようになり、4・5歳児が取り組む様子を見て、3歳児も同じようにやってみようとしています。




5歳児は、常盤小学校１年生から「どんぐりランド」の招待を受けました。秋の自然物であるドングリやマツボックリを使って工夫して作ったゲームコーナーを回り、楽しみました。自分たちに身近な素材を使った遊びを見て、園に帰って再現しています。その様子を見た4歳児と3歳児もどんぐり転がしを作っています。遊びの刺激をもらい子どもたちの遊びが豊かになっています。






みんなが食べている給食はどのように作られているのでしょう。5歳児は、給食調理場「えがお」に見学に行きました。ビデオでの説明を見た後、実際に切ったり、だしを取ったり、煮たりする様子を2階から見学しました。「あの黒い汁は何？」「昆布とかつおでうま味たっぷりの出汁を取り、みそ汁を作っています」「汁にゆっくり野菜を入れるのは、色の悪い部分が混じっていないか見ています」と教えてもらいました。キャベツは１枚ずつ手ではがし、3回水洗いをするそうです。その日の給食は「おいしい」とよく食べました。いろいろな食材に触れ、食べることで元気な体をつくっていきたいです。



